

第5分科会

「高等学校・特別支援学校とコミュニティ・スクール」

神奈川県立高校の コミュニティ・スクールの 取組み

神奈川県教育委員会

2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

神奈川の概要

9 神奈川県は、比較的あたたかい気候にめぐまれ、西部には箱根、丹沢の山々が連なり、また相模湾などの海に面していて、風景の美しいところです。

8 県の面積は、全国で5番目に小さい県ですが、人口は東京都について、全国で2番目となり、現在も増え続けています。

7 便利な鉄道、高速道路によってアクセスもよく、歴史ある史跡や豊かな自然が凝縮されています。

神奈川県教育委員会ホームページより 抜粋

神奈川の県立高校

- 高等学校 143校(分校含む)
- 中等教育学校 2校
- 全日制 139校
- 定時制 21校
- 通信制 2校



2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

「かながわ教育ビジョン」

- 明日のかながわを担う人づくりを進めていくために、県民の皆様と論議を重ねて作り上げた、神奈川県教育の総合的な指針です。



- 「かながわ教育ビジョン」では、生涯を通じた教育・人づくりを重要な柱としています。

2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

Ⅲ. 学びを通じた地域の教育力の向上

地域の教育的な役割を大切にし、地域での様々な学びや、社会参加や社会貢献等の活動を通じて、活力あるコミュニティづくりを進め、地域の教育力を高めます。

具体的には、社会教育施設や学校等における、世代を超えて地域の人々が交流を深め、学び合う機会の充実に取り組みます。また、地域との協働による学校づくりを進め、学校運営の活性化と学校の教育力の向上を図るとともに、学校を核とした教育コミュニティづくりを進めていきます。

○ 社会教育施設や学校等を活用した地域での学びの場づくりの推進

県民一人ひとりが学び続けるために、社会教育施設や学校等を活用した学びの場づくりを進める必要があることから、子どもから大人までを対象とした公開講座や施設開放の充実を図ります。

また、社会教育主事等の育成や、生涯学習社会で求められる、学びの成果を活用できる場づくりに向け、地域への支援に取り組みます。

○ 地域力を生かしたコミュニティ・スクールの普及と充実

保護者や地域住民等が参画・協働しやすい環境を整え、学校運営の活性化と教育力の向上を図るため、地域との協働による学校づくりをめざした「かながわらしいコミュニティ・スクール」の導入と推進・支援に取り組みます。

こうした取り組みを通じて、学校を核に地域との交流を深め、地域ぐるみで子育てや教育にかかわり合える、教育コミュニティづくりを進めます。

「神奈川の県立高校改革」 県立高校改革実施計画(全体) 改革のコンセプト

- 「生徒の学びと成長にとって何が重要かという視点を最優先にする」という基本的な考え方に立って、すべての県立高校で改革に取り組みます。

「神奈川の県立高校改革」

県立高校改革実施計画(全体)

改革の3つの柱

- 生徒の多様性を尊重し、個性や能力を伸ばす、質の高い教育の充実
- 魅力ある学校づくりを一層推進する学校経営力の向上
- 少子化社会の中で生徒に望ましい教育を推進する県立高校の再編・統合

2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

「神奈川の県立高校改革」

県立高校改革実施計画(全体)

改革のめざす姿

● めざす生徒像

県立高校に学ぶ生徒を、夢や希望、そして志をもち、学びを通じて自らの人生を切り拓き、生涯たくましく生きる力や、人を思いやり、社会とかわり貢献する力を身に付けた人に育てます。

● めざす学校像

「めざす生徒像」の実現に向けて、生徒一人ひとりを大切に育む豊かな人間性と高い専門性を身に付けた教職員の育成・配置や、生徒にとって安全・安心で快適な教育環境の整備、さらには地域と連携した学校づくりなどを通じて、県民と地域に信頼され、活力ある魅力にあふれた県立高校にします。

2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

「神奈川の県立高校改革」

重点目標5 「地域の新たなコミュニティの核となる学校づくりを進めます」

取組みとその概要

地域協働による学校運営の推進

すべての県立高校において学校運営協議会制度を導入し、コミュニティ・スクールを指定することを通じて、地域住民や保護者等との協働による、より良い教育の実現をめざして、地域に開かれ、地域とともにある学校づくりに取り組めます。

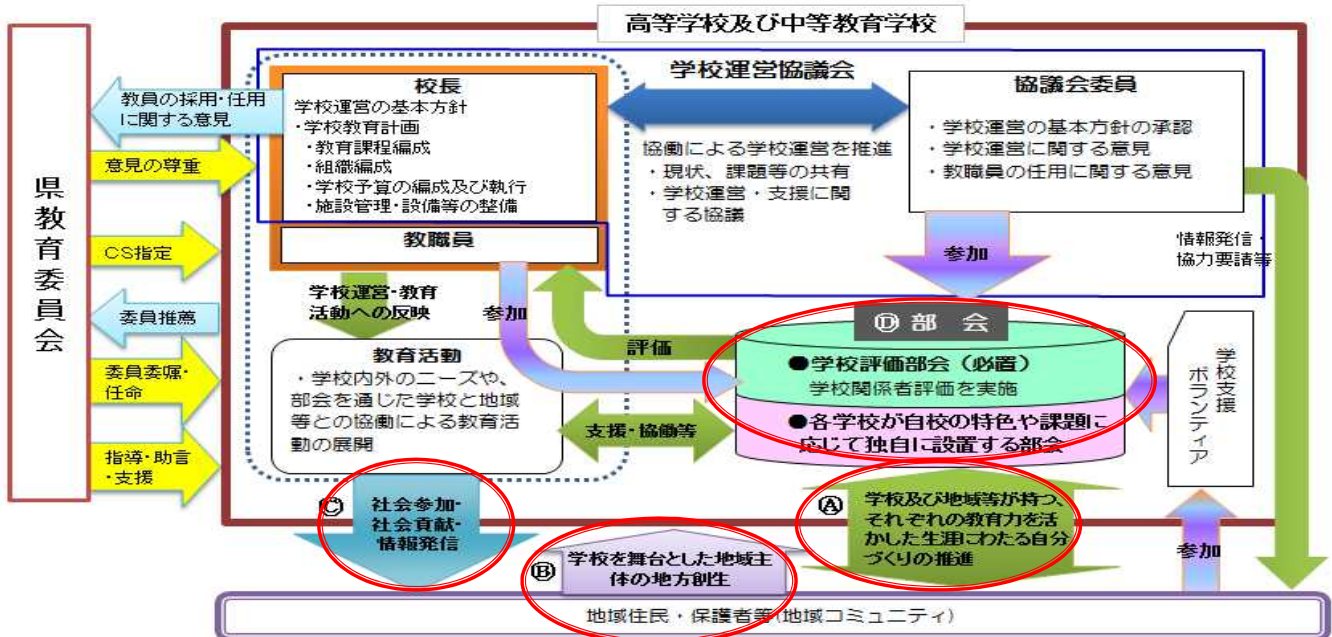
「神奈川らしいコミュニティ・スクール」は、県教育委員会が定める「神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」に基づき、学校運営協議会（当該校長を含む10名以内の委員による協議会）を組織し、取組みを進めます。

また、コミュニティ・スクールの指定により、これまで取り組んできた学校評議員制度について見直しを図ります。

○ 神奈川らしいコミュニティ・スクールの導入（全校）

これまで各学校において地域との協働による学校運営や開かれた学校づくりに取り組んできた実績をいかしながら、コミュニティ・スクールの指定を段階的に行い、学校運営協議会に基づく地域協働による学校運営を推進

神奈川らしいコミュニティ・スクールのしくみについて（イメージ）



※ 必置である学校評価部会以外は、各学校が自校の特色や課題に応じて独自に設置。

**ココが
神奈川らしさ**

- ㊤ かながわ教育ビジョンの具体化
- ㊦ 地方創生の観点からの学校運営協議会
- ㊧ 高校生が主体的に地域へ
- ㊨ 学校運営協議会の実質的活動の保障

「神奈川の県立高校改革」

県立高校改革実施計画(全体) I 期計画

I 期計画(平成28年度から4年間)の中で段階的に指定

5 重点目標5にかかる具体的な取組み

(1) 地域協働による学校運営の推進

神奈川らしいコミュニティ・スクールの導入

I 期の工程表

主体	平成28年度	29年度	30年度	31年度
全校	学校運営協議会の指定			
	(5校指定)	(25校指定)	(75校指定)	(全校指定)

※ 校数は累計値を示す。

28年度指定校(予定)：岸根(横浜北東・川崎地域) 釜利谷(横浜南西地域)
逗子(横須賀三浦・湘南地域)
小田原城北工業(中・県西地域) 愛川(県央・相模原地域)

「神奈川の県立高校改革」

平成28年度指定校について

これまでに地域との協働による学校運営や開かれた学校づくりに取り組んできた実績のある学校5校を指定。

- 岸根高校
- 釜利谷高校
- 逗子高校
- 愛川高校
- 小田原城北工業高校



A

かながわ教育ビジョンの具体化

- 学校と地域が、お互いに意見を交わし、活動し、学び合う中で教育力を高め、成長していくことを目指します。
- 地域住民の交流や学習の拠点として、学校と地域の教育力を活用し、「生涯にわたる自分づくり」に取り組める新たな教育コミュニティづくりを進めます。



2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

B

地方創生の観点からの学校運営協議会

- 学校が持つ活力を利用した地域産業の活性化や、地域社会で活躍できる人材の育成、地域との協働による取組みの推進などにより、地域の活力となる学校づくりを目指します。

(例)

高校生による地産商品の開発

地元商店街イベント等
実行委員会への学校の参画

2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

C

高校生が主体的に地域へ

- 生涯にわたる「自分づくり」の場である地域において、生徒自身が多様な活動を通じて、そこに住む人々との交流や連携した取組みなどに積極的に関わることにより、社会に参画する意欲を育みます。

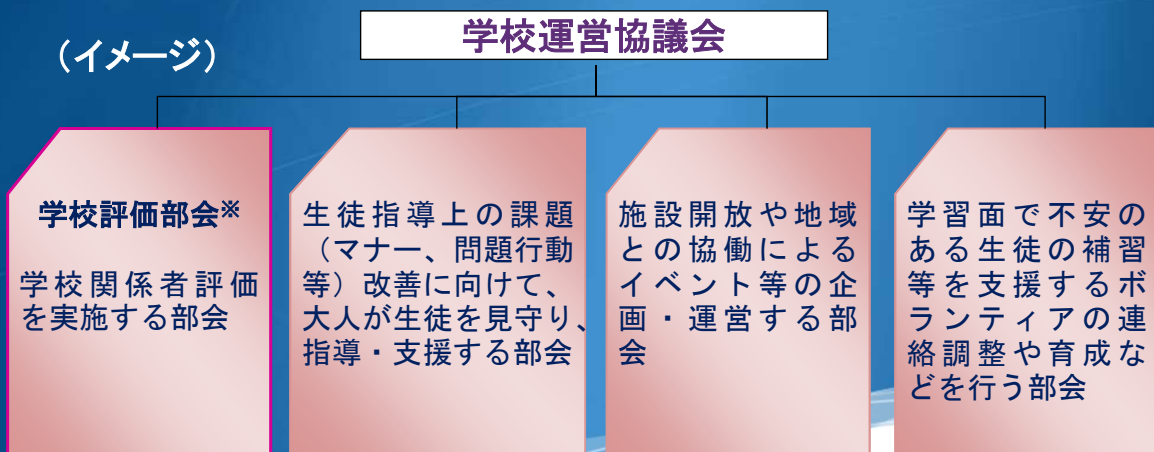


2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

D

学校運営協議会の実質的活動の保障

- 地域との協働による学校づくりを積極的に展開していくための実働組織(部会)を各校のニーズに応じて設置します。



※全校必置

2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘

神奈川のコミュニティ・スクールの 課題について

- 次の20校の指定に向けた準備
- 学校全体への制度の理解促進
- 地域の方々に向けた制度の仕組みや意義の周知・理解の機会設定



2016全国コミュニティ・スクール研究大会in由利本荘